

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 102-8081

住所 東京都千代田区九段南1-1-10 九段合同庁舎

氏名 国家公務員共済組合連合会

理事長 松元 崇

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	国家公務員共済組合連合会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区梶ヶ谷1-3-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,835	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
		電 話 番 号	
		F A X 番 号	
		メー ル ア ド レ ス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ~ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度 (2021年度)	第1年度 (2022年度)	第2年度 (2023年度)	第3年度 (2024年度)	目標排出量
排出量 (t-CO ₂)	(実) 3,359 (調) 3,125	(実) 3,102 (調) 2,714	(実) 3,365 (調) 3,063	(実) 3,317 (調) 3,317	(実) 3,381 (調) 3,147
削減率		(実) 7.7% (調) 13.2%	(実) -0.2% (調) 2.0%	(実) 1.3% (調) -6.1%	(実) -0.7% (調) -0.7%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量	基準年度 (2021年度)	第1年度 (2022年度)	第2年度 (2023年度)	第3年度 (2024年度)	目標とした値
排出量原単位等の値					
活動量の値					-
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	照明のLED化により約8 t-CO ₂ の削減を行った。 2021年度の中頃に行ったLED化の効果が想定より大きく、年間を通して電力量が減少し、前年度と比較して電力量のCO ₂ が7%の減少となった。
第2年度	空調スケジュールの見直しにより3 (t-CO ₂) の削減を行った。 電力会社の排出係数が基準年度と比較し11%上昇したことが影響し、基準年度と比較してCO ₂ 排出量が0.2%の増加となった。
第3年度	外灯をソーラータイマーへ更新することにより1 (t-CO ₂) の削減を行った。 夏季の記録的猛暑により前年度と比較し、エネルギー使用量が増加となったが、基準年度と比較した場合には減少しているため、CO ₂ 排出量は基準年度と比較し1.3%の減少となった。 調整後削減率は排出係数が基準年度の0.364から0.431と18%増加となったため6.1%増加となった
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)	削減計画を実施したことにより12 t-co ₂ /年の削減を行った。 2024年度の記録的猛暑により想定よりエネルギーの使用量が増加となった。その結果、最終的に全体のCO ₂ 排出量は基準年と比較して年間1.3%の減少となった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	covid-19の影響により換気量が増大となり、猛暑等の影響による熱源負荷への影響が大きくなったと想定される。次回の計画では熱源の効率化によりCO ₂ 排出量削減につなげたい

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○照明設備の更新等における措置 蛍光灯タイプの照明器具をLEDへと更新する。 ○照明設備の更新等における措置 外灯タイマーをソーラータイマーへ更新する ○換気設備の運転管理 空調スケジュールを見直すことにより効率的な運転を行う。
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○照明設備の更新等における措置 蛍光灯タイプの照明器具をLEDへと更新した。
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○換気設備の運転管理 空調スケジュールを見直すことにより効率的な運転を行った。
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○照明設備の更新等における措置 外灯タイマーをソーラータイマーへ更新を行った。
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>計画した取り組み3項目をすべて実施した。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行う。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行う。 ・廃棄物の分別化の推進を図る。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行う。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行う。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行った。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進を図った。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行った。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進を図った。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の木々の維持管理を行った。 病院敷地内の木々を年間を通して植木屋に定期メンテナンスを依頼し維持管理を行った。 ・廃棄物の分別化の推進を図った。 可燃、不燃、資源、感染性廃棄物、産業廃棄物を病院内にて分別を行った。 廃棄物回収の際には廃棄元がわかるようにし、一箇所に収集を行い 廃棄物の種類により分別を行った。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,359 t-CO ₂	3,102 t-CO ₂	3,365 t-CO ₂	3,317 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	1,907 KL	1,768 KL	1,799 KL	1,835 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
虎の門病院分院	神奈川県川崎市 高津区梶ヶ谷 1 - 3 - 1	3,359	3,102	3,365	3,317

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度